

反対討論

井上 栄一 議員

私は、議案第13号令和4年度松田町一般会計当初予算について、委員長報告に反対の討論を行います。内容について、財政の健全性が確保されていると理解します。

しかし、次の一点で令和4年度松田町一般会計当初予算について反対します。その一点とは、消防松田分署の用地購入費の予算計上についてであります。

松田町内に松田分署を更新し、新しい分署ができることは町民の希望だと思えます。町民の安全安心のための施設を町内に置くということは、私もそれは当然理解しています。

ただ、2億円という土地の用地購入事業費ですが、特に特定の土地が想定されている訳ではなく、例えば分署用地が予算の半分で購入できたとすると残りの半分の予算は町の税金であり、予算の半分1億円で購入できたなら、残り半分の1億円の予算を使えない、他の施策を圧迫してしまっています。

このような行政が行う土地購入は、ある程度所有者等と交渉・調整ができ、固まってからその事業に係る費用を予算に計上すべきだと考えます。

かなり大きい金額の消防分署用地を購入するというを当初予算で計上することは、限られた町民の税金を有効に使う本来的ではない予算の計上方法であると考えますので、令和4年度松田町一般会計当初予算について反対します。



消防松田分署

賛成討論

唐澤 一代 議員

令和4年度一般会計予算案について賛成の立場から討論いたします。

日本において、新型コロナウイルスの感染者が確認されてから3年目に入りました。苦しい社会情勢が続いてきましたが、町政の財政推計を確認したところ、令和4年度実質公債費比率（3か年平均）は6.8%、今後20年間を見通しても10%以下に抑え続けていける見込みです。無駄を省き節約できていることがわかりますし、臨時交付金等を上手に活用しながら適切な予算措置がとられています。

様々な施策がある中で、特に評価できる点を申し上げます。コロナ禍により全国の令和3年出生数は、過去最少を更新しました。消滅可能性都市の1つにあがっている松田町にとっても、かなり危惧するところです。加えて県立足柄上病院の産科廃止の件もあり、出産環境の課題がますます深刻化しています。

子育て支援・少子化対策についても検証をおこなったところ、令和4年度予算には拡充事業として「第2子保育料無償化」や「18歳まで拡充する小児医療費助成事業」等が、新たな新規事業として「出産サポートタクシー助成事業」や「子育て応援給付金」、「ヤングケアラー支援などの児童相談事業」等が展開され対策がとられています。



県立足柄上病院

このように、地域住民の声を取り入れ、関係機関との連携を怠らず工夫を積み重ね、町全体で新しい命の誕生を歓迎し応援し共に育む姿勢は、当初の調査結果7364人から、2040年時点で約7800人まで人口が回復する見込みにつながっています。

今後も事業の内容や周知、実施後の効果も含め、より良い事業となることを期待いたします。引き続き行政運営に取り組んでいただきますようお願いし、他の議員の皆様におかれましても、賛同頂けますよう宜しくお願い致します。

以上により、討論を終わります。